

募集要項（2022年度）

■ 研究開発助成金

大学・高専	
1. 応募期間	2022年4月1日（金）～ 6月30日（木） 15:00
2. 選考結果の通知	2022年9月頃
3. 助成金の交付	2022年10月頃
4. 対象者	<p>① 九州（沖縄県除く）山口地域の大学・高専</p> <p>② 新技術、新製品等の研究開発および企業化*¹を実施しようとする具体的計画を持っているもの</p> <p>*¹製品化、商品化、事業化すること</p>
5. 助成対象	<p>現在の技術水準からみて新規性のあるもので、以下に該当するもの</p> <p>① 産業経済の健全な発展と国民生活の向上に寄与すると認められる新技術、新製品等の研究開発（<u>ソフトウェア開発含む</u>）に関するもの</p> <p>② 上記①に関連する設備、部品、材料、原材料等の開発に準ずるもの（除く、大学・高専の管理費等間接費）</p>
6. 助成の額	1申請につき 5百万円 以内 (交付金決定時前払い)
7. 助成金を受け取る者の義務	<p>① 助成金は助成金申込書の使途に従って支出していただきます。</p> <p>② 原則、研究開発助成事業が完了するまで、進捗状況や費消状況を定期的に報告いただきます。</p> <p>③ プロジェクトが完了したときは、成果や収支実績等についてご報告をお願いいたします。</p> <p>④ 当財団が指定する教育プログラムに参加していただきます。</p> <p>⑤ プロジェクトに重大な影響を及ぼす事実(事業の譲渡、合併・会社分割など組織再編等)が発生したときは都度報告をお願いいたします。</p> <p>⑥ 応募時に提出いただいた書類や、①～③に基づく報告書等に関する当財団からの照会に対し、回答や書類の提出をお願いいたします。</p> <p>⑦ 故意または重大な過失により応募要項に違反した場合、書類や報告に虚偽の内容が判明した場合、助成金交付を取り消し、助成金</p>

	の全部または一部の金額を返還いただくことがあります。
8. 選考方法	専門家・学識者等で構成する当財団の審査委員会による厳正かつ公平なる選考を行います。
9. 選考基準	プロジェクトについて次の要件を総合的に審査して選考いたします。 (1)新規性 (2)市場性 (3)実現可能性 (4)経済・社会への貢献内容 など
10. 応募方法	財団所定の申込書に必要事項を漏れなくご記入のうえ、財団が指定するストレージへアップロードしてください。 ① 申込書は財団 HP よりダウンロードしてください。 ② 申込書の財団への持参はご遠慮ください。 ■ 提出書類 (必須) ・ 研究開発助成金申込書（申請書①・②およびスライド資料） (任意) ・ プロジェクトの具体的資料（特許関連資料、学術論文、開発製品の写真・図・動画など）
11. 説明会	助成金制度、申込み手続き等について説明会を実施します。 【開催日時】 第1回 2022年5月18日（水）14:00～15:00 第2回 2022年6月15日（水）14:00～15:00 【場所】 オンライン（zoom）

注意事項

1. 応募方法

- 財団ホームページより所定の申込書をダウンロードし、必要事項を漏れなく入力の上、下記2.記載の申込書を 4.記載のストレージへアップロードしてください。
- 応募締切日の 15:00 までに当財団でアップロードを確認できた申請書を受理いたします。(受理確認の電子メールを送信させていただきます。) 応募締め切り日時を過ぎた申込みはいかなる場合も受理できません。
- また、応募締切日時点で書類に不備がある場合は受理できません。
- 申込書の財団事務局への持参はご遠慮ください。
- ご提出いただき、受理した申込書および添付資料等の修正・差し替え・追加は出来ません。

2. 提出書類

(必須)

- ・ 研究開発助成金申込書 (申請書①・②およびスライド資料)

※ 申込書は pptx 形式・pdf 形式の両方をご提出ください。

(任意)

- ・ プロジェクトの具体的資料 (特許関連資料、学術論文、開発製品の写真・図・動画など)

3. スケジュール

- ・ 応募受付開始 2022 年 4 月 1 日 (金)
- ・ 応募締切日 2022 年 6 月 30 日 (木) 15:00 まで
- ・ 1 次審査 (書類審査) 2022 年 7 月頃 (予定) 結果通知
- ・ 2 次審査 (プレゼン審査) 2022 年 8 月頃 (予定)
- ・ 助成金交付 2022 年 10 月頃 (予定)

4. 応募先

以下のストレージにアップロードをお願いいたします (ファイルの圧縮は不要です)。

※ファイル名の命名規則：○○大学_研究代表者氏名_研究開発助成金申込書.pptx

○○大学_研究代表者氏名_参考資料名.pdf

<https://www.dropbox.com/request/wDJwu9mx6tZ8PxmskIoR>

5. お問い合わせ先

一般財団法人ふくおかフィナンシャルグループ企業育成財団
(事務局：九州経済調査協会 BIZCOLI 担当：杉本、平田)
TEL : 092-721-4909 E-mail : support@kyutec.or.jp
(原則メールでお問合せください)

(2022.4.6 更新)

2022年度 キューテック研究開発助成金 (大学・高専部門) 申込書

1. 研究開発助成金申込書①・②および以下の4項目を網羅するスライド資料を作成してください。
(各項目の具体的な内容はp.4以降のスライドにて補足説明をしています)

事業機会・課題

解決策
(技術の内容)

顧客・市場

具体的な
企業化計画

2. スライドp.4-p.7はあくまで参考フォーマットであり、1の4項目を網羅していれば基本的に自由に作成
いただいて構いません。※但し総枚数は8枚以内としてください(本スライド、申込書①②を除く)
3. 図表や写真を用いて分かりやすく簡潔に作成してください。

【お問合せ先】

一般財団法人ふくおかフィナンシャルグループ企業育成財団
(事務局：九州経済調査協会 BIZCOLI 担当：杉本、平田)

TEL：092-721-4909 E-mail：support@kyutec.or.jp (原則メールでお問合せください)

研究開発助成金申込書①

申込日： 年 月 日

【申込者情報】

大学 高専	住所	
	学校名	
	代表者名	
研究 代表者	所属・役職	
	氏名	
	連絡先	(TEL) (Mail)
事務 担当者 (任意)	所属・役職	
	氏名	
	連絡先	(TEL) (Mail)

【申込内容】

研究開発 テーマ	
助成金 応募額	千円

研究開発期間	企業化時期
自 / ~ 至 /	年 月 頃

【費用支出計画】 (千円)

区分	研究開発の 支出予定額	うち助成金 充当予定額	助成金充当予定額 の内訳明細
調査研究費			
設計費			
試作費			
試験費			
設備費			
原材料費			
その他			
人件費・謝金			
合計			

【技術シーズ】 企業化の基となる発明（周辺特許を含む）

知的財産権の内容			
①	発明の名称		
	特許番号 (出願番号)		発明者
	出願人		出願日
②	発明の名称		
	特許番号 (出願番号)		発明者
	出願人		出願日

【備考】

当該技術シーズに関するアライアンスやライセンス契約の状況等
(特許を保有していない場合) 今後の知財戦略等

【その他】

① 学内の主要担当者（責任者氏名頭部に○印をつけて下さい。）

氏名	所属・役者億	年齢	学歴・職歴など

② 本助成制度をお知りになられた経緯についてご記入下さい。

--

③ 本研究開発で、他の団体（国、県、市、その他）等からの補助金（助成金等）があればその内容をご記入ください。

--

研究開発助成金申込書②

【研究開発プロジェクト要旨】（200字程度でご入力ください）

【事務局記入欄】

【技術シーズや企業化計画の概要】（600字程度でご入力ください）

1. 企業化により解決を目指す課題（誰のどんな課題を解決するのか）

次頁以降のスライド資料で説明する内容の要約を簡潔に分かりやすく記載してください。（但し、ページの追加や枠の拡大・文字サイズの縮小は不可）

2. 解決策（技術の内容）

3. 想定顧客・市場（足掛かり市場）

4. 具体的な企業化計画

【図表】

【記載内容・ポイント】

➤ 事業機会

- どのような事業機会があるのか？
- 対象とする市場のマクロ・ミクロトレンドと市場規模、成長性

➤ 課題

- 市場においてどんな問題があるか、その発生した理由、問題の大きさ・深刻さ、現時点の対処方法
- 誰のどんな課題を解決するのか など

2. スライドタイトル

【記載内容・ポイント】

➤ 解決策（技術の内容）

- 課題を解決するために本技術が取り得る手法
- 技術シーズをどのように利用したら顧客の課題が解決できるか、それによって顧客はどう変わるか
- 課題解決方法の妥当性、新規性

➤ 研究開発の状況

- 研究開発のステージ
(実証研究の段階か？試作品の有無、非臨床・臨床等)
- 知財の出願状況
- 共同研究の状況、企業とのコラボレーション

➤ 競合との差別化・優位性

- 既存の解決策や競合になりうる解決策とどう差別化するか
- 現状の対処方法を提供している企業、その強みと弱み など

【記載内容・ポイント】

➤ 顧客・市場

- 市場参入の足がかりとなるエントリー市場（規模）、初期顧客像とその顧客へのリーチ方法 など

4. スライドタイトル

【記載内容・ポイント】

➤ 企業化の方法

- 新会社設立、別の会社への生産・販売委託など（ビジネスモデル）

➤ 企業化のスケジュール

- 助成金受領後の具体的なスケジュール・プロセスについて

➤ 企業化チーム

- 企業化チームの紹介
- 起業を目指す場合、経営者候補はいるか

➤ 助成金の使途

- 今後の企業化計画と本助成金の資金使途について
- 本助成金で何を仮説検証するのか など